



**大森山動物園～あきぎんオモリンの森～
今年の通常開園は11月30日(木)まで!**

入園料▶720円(高校生以下無料) 問▶☎(828)5508

11月23日(木祝)は いい夫婦の日イベント!

11月22日の「いい夫婦の日」にちなみ、夫婦・カップル限定のイベント&サービスを実施します(親子は対象になりません)。動物園でラブ・ラブしましょ♡

★動物園内では

- ▶まんまタイムとどうぶつ解説はこの日限定で、飼育員がオス・メスペアの動物のエピソードなどを話します ▶カップル限定! 無料エサやり体験



★ゆうえんちアニパ、

- ビジターセンター軽食コーナーでは ▶通常1人300円の観覧車がペアで300円(25日(土)まで) ▶アイスクリーム、ジェラート、ポテトがカップル限定の増量サービス



★軽食森のこまちでは

- ▶先着150組にハート型クッキーをプレゼント!

11月26日(日)は さよなら感謝祭2017!

恒例のシーズン閉園イベント。感謝祭セレモニー(10:00～)では、今年亡くなった動物への慰霊や小学生ブラスバンドの演奏、高木美保名誉園長による今年を振り返るスピーチなど。ぜひお越しください。

★感謝祭特別イベントもいっぱい!

- ▶レッサーパンダやウサギなどのエサやり体験
- ▶動物園のヒーロー「ミルヴェンジャー7」ショー

★ゆうえんちアニパでは

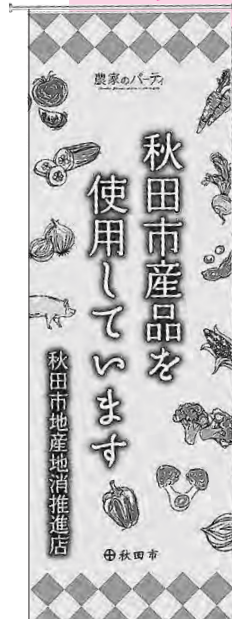
- ▶通常1人300円の観覧車が1台300円(4人乗り)

★軽食森のこまちでは

- ▶先着300人に、あんこ・きな粉・ごまが入った3種類のお餅をプレゼント!(11:00～)

**買って、食べて、
もらっちゃおう!**

地産地消推進キャンペーン開催中!



「秋田市地産地消推進店」に認定された飲食店・直売所で、市内産農産物を使用したメニューを注文または購入したお客さまに、抽選で豪華景品をプレゼント! キャンペーンは12月2日(土)まで。

対象店や申込方法など、詳しくは産業企画課へお問い合わせいただくか、同課ホームページをご覧ください。

抽選で野菜や加工品などの秋田市産品詰め合わせが当たる!

- 「秋田市まんぷく便」= 3人
- 「秋田市ごっつお便」= 5人
- 「秋田市おたのしみ便」= 10人

秋田市地産地消推進店のほり

問い合わせ・ホームページ

産業企画課☎(888)5724

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ag/mn/>



開園式のあと、ボランティアガイドの案内で園内を散策

国指定名勝「如斯亭庭園」が開園

修復工事が完了した、「国指定名勝 旧秋田藩主佐竹氏別邸(如斯亭)庭園」(旭川南町)が10月21日に開園しました。

晩秋から本格的な冬を迎えるこれからの季節も、風情ある園内の景色が楽しめます。ぜひ如斯亭庭園で、ゆったりした時間をお過ごしください。如斯亭庭園管理棟☎(834)6300

入園料 200円(高校生以下無料)

開園時間 4～11月=9:00～16:30
12～3月=9:30～16:00



AKITA
ARAYA
GLASS
STUDIO

開館時間▼9:00～17:00 ◆入館無料 ◆火曜休館

秋田市新屋ガラス工房

☎(853)4201
新屋表町5-2

「風にそよぐワイングラス」公開展示

展示期間 開催中～12月25日(月)まで

9月に放映されたNHK「超絶「凄ワザ!」」に出演した、秋田公立美術大学の小牟禮尊人教授(兼新屋ガラス工房リーダー)が制作した「風にそよぐワイングラス」を公開展示しています。



「風にそよぐワイングラス」は、120年前に亡くなったイタリア・ベニスガラス職人、ジョゼッペ・パロピエールが制作した世界に一つしかないワイングラス。制作が不可能と言われたこのグラスを見事、小牟禮教授が復元しました。繊細な技が光る貴重な作品を、ぜひ会場でご覧ください。



みちのくガラス作家展 in 秋田

展示期間 11月22日(水)から27日(月)まで

東北6県で活動するガラス作家の作品を展示します。出展作家は、新屋ガラス工房所属の7人を含め約30人。これだけのガラス作家の作品が一堂に会する機会はなかなかありません! 会場ぜひお気に入りの逸品をお探しください。



アートライン
artlineを読んで
芸術を身近に!



千秋美術館、県立美術館、仲小路商店街の最新情報満載のリーフレット「artline」の2017年11月号を発行しました! 美術館やにぎわい交流館などで配布しています。



館岡栗山 墨樹金果 1940年

千秋美術館コレクション展 高橋萬年と館岡栗山

問い合わせ ☎(836)7860

11月17日(金)▶12月24日(日)
10:00～18:00
一般300円、大学生200円、
高校生以下無料

詩情豊かに都市や田園の風景を描いた高橋萬年。郷土の祭りや伝統風俗を描いた作品で親しまれる館岡栗山。ともに「院展」を舞台に制作を続け、秋田の日本画壇の中心となって活躍した2人の作品を紹介します。

◆おもな作品 高橋萬年＝「雀小屋」「永代橋」「田植」、館岡栗山＝「蔦温泉」「墨樹金果」「かまくら」「梵天」ほか

◆ギャラリートーク(学芸員による作品解説) 11月25日(土)、12月16日(土)、いずれも14:00～